

連絡報第 十

1.295 號

昭二七、一、一八  
連絡課

要處置	
配布先	主任 復員課
局長、局附部長、復員課、庶務室	

琉球に対する遺骨及び遺留品の輸送について

一、参照 連絡報第一三九三號

二、沖繩及び奄美大島に送還すべき遺骨及び遺留品の船舶輸送に關し、大政商船株式會社、東事支店社（船客係主任安田正典氏）電五六〇〇（六）と協定し、左結果地の通りである。

25

記

船名 白雲丸（總噸數二、二八〇。定員一四三名）定期船

## 2. 船賃

本店との連絡の結果改めて通知するも、無料にて輸送する計画が、旨の料意  
 的の回答に付した。

## 3. 運行計画及び搭載日時

1. 運行計画

	港名	着	発
往	横浜	11	2月11日
	神戸	13	14
	鹿見島	16	17
	名瀬	18	18
	那覇	19	
復	那覇		21
	名瀬	22	22
	鹿見島	23	23
	横浜	26	

~~備考~~

口搭載日時三月十六日(祝日) 千七旦、鹿見島港とし、細部については大改商  
 船鹿見島出張所(鹿見島市住吉町)と連絡すること。

八右計画は若干変更多きものと思われ、確定次第連絡する。

その他

下道骨の積込は復員司における担任すること。  
に要する人員経費等についで

口、遺骨の慶見島港集結を周到にし出港に支障なきように留意すること。

ハ、安置の位置は三等喫煙室を改装した<sup>定員</sup>人員用部屋を充當し取扱は了

重にする<sup>如く取付</sup>。